

本校の教育方針	
1	心身の調和のとれた健全な人間の育成
2	協調性に富み、道理をわきまえ、円満な団体生活を営み得る人間の育成
3	現代文化に貢献し得る基礎的学力を具備した人間の育成
4	質実剛健にして勤労を愛好する人間の育成
5	自主的・意欲的で創造性の豊かな人間の育成
中・長期的目標	今年度の重点目標
1	急速な社会の変化に対応して生き抜いていく力を、生徒に確実に身につけさせる。
2	本校に対する地域の要望を積極的に受け止め、開かれた学校を実現する。
3	新学習指導要領実施に向け、より充実したカリキュラム編成を研究する。
1	自ら考え自らに問う学びの教材を「佐久」に求め、「生徒が主体的に探究する」授業づくりと教科の枠を超えた横断的な学びをとし、学力向上と進路実現を支援する学習環境づくり
2	文武両道の教養を基本に据え、特別活動等とおして心身の健全な発達を促すと共に、幅広いもの見方や考え方を身につけさせる学校づくり
3	情報発信を積極的に行うと共に、生徒・保護者・地域の願いに応えることのできる学校づくり
4	いじめや体罰のない、生徒が安心かつ安全に過ごすことができる学校づくり

分野別の評価項目と具体的活動

領域	分野	評価(指導)項目	具体的活動(評価の観点)	
教育活動	学習指導	教育課程の改善	教育課程の研究および検討 新学習指導要領実施に向けた新教育課程の研究。実現可能な総合的な学習の時間の在り方を、次の2つの視点から研究する。①講座編成 ②時間割	
		学力の定着向上	教員の指導力向上と生徒への還元	RESAS導入後の教員間互見授業の計画立案および実施、運用。教科指導における探究的な授業展開、および教科横断型授業プランの検討。Classi(ベネッセ)活用の研究。家庭学習週間の仕掛け。授業評価アンケートの内容検討および実施。「進路・学習の手引き」の改編・検討。
			家庭学習習慣の定着	自学自習の意義を理解させ1、2年生は「平日2時間、休日3時間以上」の家庭学習時間確保を目標とする。各学年で計画・実施する学習への動機付け、学習習慣の定着を図る。またその補助となるよう各教科で年間を通した計画的な平日課題・週末課題を課し、紙媒体やポートフォリオに学習の記録をつけさせ、担任ばかりでなく教科担任も個別相談の判断材料としてその記録を活用する。
		人権平和教育の充実	人権平和教育の充実	全校人権教育を中心に、今ある人権問題について具体的に取り上げ、生徒が現状を理解し解決策を考えることができる場を設ける。
	探究活動の充実	探究心の醸成と定着	全1年生を対象に週1単位で探究の時間を実施する。11月までは昨年度プロジェクトチームが作成した「10の力」を計19回実施。7月より自己研究に着手し、2月の探究学習成果発表会にてポスター発表およびプレゼンを行う。ポートフォリオ等を利用し、進路に必要な資料の蓄積を行う。	
	進路指導	進路目標の明確化	3年間を見据えた進路計画の設定	3年間を通じた進路計画のもとに各学年ごとの進路目標と計画をたて、指導に生かす。(3年間を通じて目指すものは生徒の自己管理能力をつけ、自らの考えて学べる姿勢を養うこと) 個々の生徒の進路実現のためにあらゆる手段を通じて生活リズム・学習の方法などを示し、生徒一人一人への丁寧な指導を実践する。
		進路情報の提供	職員の進路情報共有	職員会議や進路研究会を通じて、生徒の実態や進路指導対策について係より情報提供をし、情報の共有化をはかる。また各学年で模試分析会を定期的に行い、必要に応じて業者の協力を得て効果的な対策について検討し実践する。
			生徒への情報提供	「進路通信」や進路講演会、掲示物、情報誌、個人面談を通じて、生徒の進学先についての研究・検討ができるような手助けをする。進路情報を記載した進路通信「徳を育む」を発行し、「大学をとりまく現状」「今何をすべきか」を伝えつつ、受験指導を行う。
			保護者への情報提供	「保護者のための進学講座」を開講し、進学に関わる現状や保護者に知ってもらいたいことなどを伝え、本校の進路指導のあり方を理解してもらおう。また、PTA支部総会や学年・学級PTAを通じて、本校の進路指導の活動や進路結果を提供する場とする。
	キャリア教育の充実	キャリア形成と情報の提示	総合的な学習の時間等に講演会・ガイダンスを計画し、学ぶ力・生き抜く力を身につけさせる。新テスト対象となる1年生は探究活動を通して、自己探求や他の生徒から等の情報を共有し自ら発信する力を養う。大学見学やインターンシップ、企業見学等を利用し、キャリア形成のための継続指導を行う。卒業生の講話や社会人講話、大学公開講座、ガイダンスへの積極的な参加を促し、進路意識を喚起する。また、各種体験学習への参加を呼びかける。	

教育活動	生活指導	基本的生活習慣の確立	基本的生活習慣の確立	集団の中でルールを守って生活する基本的な生活習慣を身につけさせる。無断欠席・遅刻のないよう指導する。さらに明るく挨拶のできる習慣を身につけ、きちんとした身だしなみをこころがけるよう指導する。 情報モラルの徹底をはかり、生徒指導通信を発行して啓発活動に努める。
			清美	校内清掃による美化の推進に努める。ゴミの減量化と分別の徹底による地域環境を意識した活動を行う。教室だけに限らず、外清掃などの意義も認識させる。 清美委員会を中心に、生徒自らの手による整理整頓された学習環境作りを推進する。
		相談体制の充実	支援を必要とする生徒・保護者・職員のサポート	教育相談体制を充実させ、生徒が気軽に利用できる相談室の運営を行う事やカウンセラーの来校について周知徹底をする。また外部相談機関の案内も充実させる。毎週(木②)に教育相談委員会を開催し、様々な相談に対応できるようにする。今年度も「いじめ・悩み実態調査」を2回(5,11月)実施し、いじめの早期発見と予防に努め、教育相談体制の一層の強化を図る。
		健康安全確保と環境づくり	交通安全指導	歩行者・自転車・バイク事故が起きないよう交通安全指導を春2回、秋1回校風委員会や職員が協力して行うとともに、バイク通学者を対象に春と秋に自動車学校で交通安全教育を実施する。また5月に日本自動車連盟と連携し、全校生徒を対象に交通安全教育を実施する。
			健康・安全確保と環境づくり	「①けがや体調不良に関して卒業しても自分で対応できるような自己管理能力を高く②健康に関する知識を身につけ、更に自分のこととして考え行動する力を高く③」を目標として保健講話の充実や、保健情報の発信、保健室での個別の保健指導に取り組む。
特別活動	自主的自立的な生徒会	自主・自立した活動	形だけが先行して中身の伴わない行動にならないように規律と自主性を第一義におき、挨拶運動、ボランティア活動、情報発信など前向きな活動に取り組む。	
		文化祭の発表	企画・立案・運営のすべてを生徒自らが作り上げ、視野を校内にとどまらず地域や日本国内外に向けた発表要素を含む文化祭となるように支援する。 地域の皆様に本校の良さを知っていただくために、魅力的な展示やイベントを企画することで、生徒や来校者の心に残る文化祭を目指す。	
	クラブ活動の活性化	全活動の支援	学習との両立をはかりながら生徒会活動、クラブ活動へ積極的に参加し、自主的・主体的活動ができるよう支援する。競技、種目毎の目標を持たせ心身と技術向上を目指す。	
	地域活動の推進	地域での活動と交流	委員会の地域清掃活動や班活動を発表する機会を積極的に持ち、地域貢献の実施と地域交流が深まるよう支援する。	
学校運営	開かれた学校づくり	地域への情報発信	体験入学	体験入学を7月27日(金)午後実施する。体験入学を通して中学生に岩村田高校についての理解を深めてもらう機会とする。
			授業公開	昨年度に引き続き土曜日授業(年8回)を公開とする。本校生の保護者はもちろん、中学生やその保護者、地域の方々、また本校職員にも授業を見てもらうことで、本校の教育に関する意見をもらいたい。いただいたご意見は有効に活用して授業改善や本校の教育力の向上に生かしていく。
			学校紹介の充実	学校紹介パンフレットを更新作成する。パンフレット等を通して、岩村田高校生の活動状況を中学校へ発信し、本校の魅力アピールする。機会をみて、中学校を訪問し、本校の教育内容についての理解を深めてもらう。出前授業も積極的に実施したい。
			ホームページの充実と活用	体験入学情報、学検情報などを発信する。また、本校の日々の活動や、学校行事の様子、進学などの情報を小まめに掲載する。生徒の活動の様子がわかる画像も含めて随時発信していく。
	保護者地域との連携	P T Aとの連携および意見要望の集約と職員への周知	P T Aと学校との連携を深め、より多くの保護者の方が参加しやすいP T Aを目指す。支部P T A(4月実施)、強歩大会、P T A総会、文化祭バザーなどのP T A行事への積極的な参加を呼びかける。また、保護者からの貴重なご意見は必ず関係各所で検討し、何らかの形で保護者に説明する機会を設ける。	
	職員研修	学習指導の改善	教科における授業の研修研究	講習会・研修会に積極的に参加し、情報を共有しながら授業力の向上に努める。また視察等を行い、生徒実態に対応できる部分から授業改善につなげる。公開授業でいただいたご意見を授業改善、本校の教育力の向上に生かす。校内での授業研究週間を2回設定し、研究授業・授業公開を行い授業力向上、わかりやすい授業を目指す。進路と連携しながら生徒対象の授業アンケート、年度末には生徒・保護者を対象に満足度アンケートを実施し、アンケートに寄せられた要望・意見を真摯に受け止め、教科内でも授業力向上への方策を研究する。総合教育センター等の各種研修会の情報を提供し、積極的な参加を促す。
職員人権平和教育研修		研修会への参加励行	今の高校生の人権にかかわる問題点と現状を職員が理解を深めることで、生徒が安心して学校生活を送れるような方策を考えていく機会とするため職員人権研修会を行う。	